

莊子の名は周、戦国時代・宋国の人。

それは弱肉強食、混乱と苦痛の時代でした。

このどん底の時代に生きた賢者は、はたして偉大だったのでしょうか？それとも・・・

莊子は、世の中に背を向けて、無窮の時間と空間を見つめました。

莊子の考えはこうです。

人は自覚的存在なのだ。

1. 他人から自分を描いてはいけない。
2. 過去と未来から現在を描いてはいけない。
3. 価値の無いものから価値のあるものを描いてはいけない。
4. 無限から有限を描いてはいけない。
5. 死から生を描いてはいけない。

そうすれば、人は自由になれる。

莊子の哲学は自由の哲学です。

生命を無限の時間・空間に解き放つ体験哲学です。

莊子からみれば、世人の生活は「生命のない秩序」でした。

莊子が求めたのは「生命のある無秩序」だったのです。